

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

これから求められる経営思想と経営哲学 小林 喜光 (三菱ケミカルホールディングス会長)

- かねて私は、敗北の現実を目を背け、ぬるま湯につかって危機意識に乏しい人たちを「ゆでカエル」と呼んできた。カエルを湯から跳び上がらせる天敵・ヘビの存在が必要で、図らずも、コロナが激動の世界へ扉を開くヘビになりそう。日本がデジタル化で遅れを取る現実が白日の下にさらされ、ここへきてようやく「紙とハンコがなければ手続きができない」「対面でなければ診療できない」といった、時代遅れのシステムから抜け出す一歩が踏み出されようとしている。
- これから待つ世界は、かかわる人々の純粋な論理と思考が問われる。ある意味で、冷酷でシビアな世界。この世界の中で、改めて「変革への競争」をする覚悟があるかが、組織としても個人としても厳しく問われる時代になる。
- この危機をどうとらえ、何をするかが、将来の帰趨^{きすう}を決めるといっても過言でない。製品づくりや物流など「リアル」な現場はゼロにはならないが、そうでない部分で一層リモート化は進む。一方で、地球温暖化はコロナいかにかわらず中長期で人類の存在を左右し、ヘルスケアはいつの時代も変わらず人々の関心事だ。つまり、より一層求められるのは、コロナ後の世界を見据えた経営思想であり、経営哲学である。

(参考:「日経ビジネス」2020年6月8日号)

経営者のための理念・哲学

「すなわち人である」(鈴木大拙)

鈴木大拙の魅力がよく表されている言葉を二つご紹介いたします。

- 「禅は大海である、空気である、山である、雷と稲妻である。春の花、夏の熱、しかしてそれは冬の雪である。否、それ以上である。すなわち人である」(禅学入門)
- 「結果の生ずることを期して祈る祈り、願をかけたらその願が叶う、どうぞ叶えてくれというのは、ほんとうの祈りではない(中略)ほんとうの祈りというもの、叶うても、叶わなくても、むしろ叶わんということを知りつつ、祈らずにおられんから祈るといのがほんとうの祈りで、祈るから叶うという相手に目的をおいて祈るのでは、ほんとうの祈りではない」

(参考:「致知」:2020年8月号)

経営者のための危機管理

国力低下(世界から見放される)が進む日本

- 今後は、日本が世界から距離を置かれるのはいか。「日本政府が入国制限緩和を検討すると言っているが、海外から見れば本当の感染状況がわからない日本を安全だと思えない」といった外国人のいら立ちの声を聞くからだ。背景には日本に対する信頼感の低下があるようだ。
- 近年の日本政府の隠ぺいや改ざんを知日派の外国人は知っているため、日本のコロナ対策への不信感が拭えない。「成功」というなら、日本政府は根拠を示して説明し、国内外の理解を得る必要がある。そうした発信がない限り観光客は来てくれず、他国の日本人に対する入国制限が解除されない懸念がある。世界からソーシャルディスタンスを求められる国になれば、経済的不利益は計り知れない。

(参考:「週刊東洋経済」2020年6月20日号)

古典に学ぶ

平生の心掛けが大切

(解説) みずから決心して動かぬと覚悟していながら、人の言葉によりて変ずるがごときは、もとより意志の鍛練の出来ているものではない。とかく平生の心掛けが大切である。平素その意中に「こうせよ」とか「こうせねばならぬ」とか、事物に対する心掛けが的確に決まっているならば、いかに他人が巧妙に言葉を操っても、浮^{うか}とそれに乗せられることはない。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)